

PARA DRIVER DI USER GUIDE

1 はじめに

この度は TECH 21 製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品の性能を最大限に引き出すためにご使用前にかならず内容をよくお読みください。
SansAmp Para Driver DI は、あらゆる入力ソースを自在にトーンコントロールできる、レコーディングやライブパフォーマンスで使いやすいダイレクトボックススタイルのペダルです。当社独自の 100%アナログ回路は、ピエゾピックアップ特有の不自然な高調波を除去し、まるで真空管プリアンプをマイキングしているかのような自然な暖かさと存在感を演出します。プリアンプ、ストンプボックス、EQ 付きダイレクトボックス (Blend が最小のとき) として機能し、楽器の信号をケーブル長が長いことによる信号の損失や音質劣化を防ぎます。SansAmp 回路を ON にすれば、ミキシングされたプロレベルのサウンドとレスポンスをパワーアンプやギターアンプへの入力はもちろん、レコーディングコンソールや P.A. にも直接入力可能です。

2 使用上の注意

- ◆ 本機は、本体やピッキングスタイルによって様々な信号レベルを出力します。例えば、高出力信号と強めのピッキングはゲインを増加させ、歪みを生みます。低出力信号と軽いタッチは、ゲインを減少させ、歪みにくくなります。プレゼンス、ドライブ、EQ コントロールを使用して、あなたのスタイルに最も適したサウンドとゲインの適切なミックスを探してください。たとえば、ハイエンドをよりクリーンでスムーズにしたい場合は、Treble を上げて Presence を下げます。より多くのオーバードライブを望むならば、Presence を増やして Treble を減らしてください。高次倍音とアタックを引き出します。Treble を上げると、超高音域の成分を変えずに高音域の成分を増やす事ができます。
- ◆ 本機のノイズレベルは非常に低く設計されていますが、入力ソースから発生するノイズを増幅する可能性があります。本機のコントロールは敏感であり、高レベルの出力を出すために最大レベルの入力を必要としません。SansAmp Bass Driver DI に入るノイズを最小限に抑えるために、以下をお勧めします。
 - a) アクティブベースやバッファード信号は、トーンコントロールをフラットに設定してください。もしブーストする必要があるならば、ゆっくりと控えめに設定してください。
 - b) パッシブベースは、音量とトーンのコントロールを最大に設定してください。
- ◆ 本機を飽和状態 (強く歪んだ状態 / サチュレーション) にすると、オーバードライブチューブアンプのように倍音が強調されます。設定によっては、独自の回路がメーターの測定値よりも過度な入力を制限するため、外部コンプレッサーやリミッターは必ずしも必要ではありません。
- ◆ 演奏テクニックのダイナミクスとニュアンスに対する高い反応性を損なわないために通常、ベース本体を本機に直接接続してください。
エフェクトを使用する際は一般的な使用方法として、
本機の前：ワウ、プリアンプ、コンプレッサー、ファズ、エンベロープフィルター等
本機の後：コーラス、ディレイ、EQ、ピッチシフター、リバーブ
をおすすめしますが、お好みに合わせて配置してください。

3 接続

アンプとの接続：

プリアンプとして接続：

本製品の出力を直接パワーアンプ INPUT (または「エフェクトリターン」) に接続します。これによりアンプのプリアンプ部をスルーして本機でコントロール可能です。

外部エフェクトとして接続：

1/4 インチ出力をアンプのフロント入力 (メインの入力端子) に接続します。
最良の結果を得るには、アンプの入力が過負荷にならないように、SansAmp のレベルを必ずユニティゲイン (出力レベルが本機の ON/OFF 時でほぼ同じ状態) に近づけてください。

フロント入力を使用するときにアンプを設定するためのヒント：

1. 低ゲインチャンネル入力に接続します。
2. プレゼンスコントロール (該当する場合) を 12 時以下に設定します。
3. トーンコントロールをできるだけフラットに設定します。

3 接続

PA パワーアンプへ接続：

1/4" 出力もしくは XLR を PA ミキサー、もしくは、PA パワーアンプの入力に接続します。本製品の Level コントロールで音量を調節します。

注：アンプのパワーアンプ入力またはパワーアンプを単独で使用する場合は、必ず出力レベルスイッチを次のように設定してください。


1/4" を使用している場合：+10dB オン ()

XLR を使用している場合：-20dB オフ ()

その後、必要に応じてレベルを調節します。

ダイレクトにレコーディングする：

XLR または 1/4" フォン出力をミキサー/レコーダーの入力に直接接続します。ミキサー/レコーダーの入力ゲインコントロールを操作して、その入力が過負荷にならないように調節してください。本機のレベルが 12 時を下回っていてボードが過負荷になっている場合は、それぞれの出力レベルスイッチを使って出力を下げます。

1/4" フォンを使用している場合：+10dB オフ ()

XLR を使用している場合：-20dB オン ()

これらのフルレンジシステムは幅広い周波数に対応しています。まずは 12 時の EQ レベルから始めてください。

楽器と使用する：

アコースティック、エレクトリック、ベースギター、アップライトベース、キーボード、バイオリン、ドラム、サックス、ハーモニカ、さらにはボーカルにも使えます。しかし、ここで紹介している以外の楽器でも高相性なものが存在します。ぜひお試しください。

楽器を使わずに使用する：

- 本機をミキシングボードに接続し、特定のチャンネルをウォームアップするための外部プロセッサとして使用。
- マイクからミキサーに直接インラインで接続する。
- ミックスダウンで既存のトラックのサウンドを強化する。
- スピーカー/マイクシミュレータとして使用して、お気に入りのエフェクト/ストンプボックスを直接録音する。

4 コントロール

DRIVE：

入力感度、および全体のゲイン量を調整します。真空管アンプのオーバードライブを再現します。

BASS & TREBLE：

カットするだけのパッシブコントロールとは異なり、本機のアクティブトーンコントロールは、ユニティゲイン (12 時) から ±12dB カットまたはブーストします。

BASS は 80Hz、TREBLE は 3.2Hz を調節します。

MID&MIDSHIFT スイッチ：

セミパラメトリック EQ コントロール。160 Hz~3 kHz を ±16 dB 調節可能。ミッドシフトでは、ミッドレンジコントロール (MID) の中心周波数を選択することができ、MID をブーストし、Mid Shift でさまざまな周波数を選択すると、さまざまな独自のサウンドを演出可能で、アコースティックギターがフィードバックしている可能性がある特定の周波数をカットすることも可能です。Mid Shift を 1kHz に設定した場合、MID は従来のミッドレンジコントロールとして機能します。


BLEND：

真空管シミュレーション回路と音源の信号 (ドライ信号) のブレンドを決定します。通常、最大 (100% SansAmp) に設定します。ただし、ピエゾピックアップを装備したアコースティック楽器などでの使用の際には、アコースティックな響きを残すためにドライ信号を混ぜることでバランスを取ってください。Blend が最小の際、真空管シミュレーション回路はバイパスされますが Bass、Treble、Level の各コントロールはアクティブのままです。


LEVEL：

1/4" フォン出力と XLR 出力の両方の出力レベルを調節します。

5 RUMBLE フィルター

ON () にすることで、アコースティックギターでのハウリングやハンドリングノイズの原因となる不要なサブソニック周波数 (10Hz 以下の帯域) をフィルターします。また、エレキギターなどの楽器では、より華やかで自然なサウンドを実現します。ブレンドが最小のときは効果がありません。

6 AIR フィルター

ON () にすることで、アコースティック楽器に明瞭さと輝きを追加します。他の楽器も、より精細でオープンなサウンドを演出します。ブレンドが最小のときは効果がありません。

7 入出力とスイッチ

電源を入れる順番について：

本機の電源を最初にオンにし、最後にオフにします。機器を接続または切断するときは、スピーカーを損傷する可能性のある「ポップ」を防ぐために、プラグの抜き差しを行う前に、必ずミキシングボードをミュートにするかアンプの音量を完全に下げてください。

INPUT：

1/4" 4.7MΩ、インストゥルメントレベル。プラグが入力されると自動で電源を ON します。バッテリーの消耗を防ぐため、本機を使用していないときはプラグを抜いてください。

PARALLEL OUTPUT :

1/4" アンバランスバッファード出力。入力された信号は、EQ やエフェクトがかかるとなく出力されます。

注：INPUT のインピーダンスは、PARALLEL OUTPUT に接続されている機器のインピーダンスによって変化します。PARALLEL OUTPUT に接続されている機器がローインピーダンス（ヴィンテージエフェクター、チューナなど）の場合、INPUT のインピーダンスを自動的に減少させます。信号の劣化を防ぐため、ハイインピーダンスが必要な場合（たとえばピエゾなど）にはパラレル出力を使用しないことをお勧めします。

XLR 出力 (Di アウト) :

バランスド 600Ω 出力。EQ やエフェクトのかかった、またはバイパスされた信号をミキサーやレコーダーに送信します。

XLR OUT PAD スイッチ :

さまざまな機器に出力を合わせるための -20dB パッド。アップポジション (■) では、出力は 0dB、ダウンポジション (■) では、出力は -20dB です。

1/4" フォン出力 :

アンバランスド 1KΩ 出力。

EQ やエフェクトのかかった、バイパスされた信号をベースアンプまたはパワーアンプに送ります。

1/4" Output Level スイッチ :

さまざまな機器に出力を合わせるための +10dB パッド。アップポジション () では、出力は +10dB、ダウンポジション (■) では、出力は 0dB です。

フットスイッチ :

SansAmp チューブアンプエミュレーション回路をオン/オフします。オンにすると、LED が点灯し、音色とゲインは各種コントロール設定の影響を受けます。XLR アウトプットと 1/4" フォン出力より効果のかかった状態の信号を送ります。

オフにすると、LED が消灯します。本機はアクティブクリーン DI として機能し、音源の信号は、各種コントロール設定の影響を受けません。

8 ファンタム電源

現在、多くのミキサーは XLR 入力にファンタム電源機能を搭載しています。本機は XLR 出力 (DI アウト) を使用した際、ファンタム電源供給を受けて作動させることができます。ファンタム電源供給時本機は電源アダプターを使用することなく動作ができます。電源は最低 24V ファンタム電源ですが、ヘッドルームを最適化し、LED を点灯させるには、48V ファンタム電源を推奨します。

8 ファンタム電源

PHANTOM & GROUND CONNECT スイッチ :

このスイッチを ON にする (■) とグラウンドが接続され、XLR 出力からファンタム電源の供給を受けることができます。また、このスイッチを OFF にする (■) と本機のグラウンドはカットされた状態になり、接続されているミキサー等のグラウンドに接続されていない状態になります。

ミキサーにのみ入力する場合 :

ベースを本機に接続して XLR Output をミキサーに接続している場合（そして他のアース機器が接続されていない場合）、アースを接続するにはスイッチを押し込みファンタム電源を ON にする必要があります。

ミキサーとベースアンプに入力する場合 :

XLR を経由してミキサーに接続、1/4" フォン出力を使ってベースアンプ（独自の AC アース付き）に接続する場合は、スイッチを「グラウンドリフト」モード用の位置 (■) に設定する必要があります。スイッチが ON/OFF いずれの位置でも、ノイズやバズ音がした場合は、接続している AC コンセントに問題がある可能性があります。

※ビンテージ機器を使用する際は、ノイズ対策をしっかりと行ってください。ビンテージ機器によるノイズの影響は全ての機材に影響する場合があります。

※ファンタム電源を供給する場合でも、9V 電池を接続したままにしてください。ファンタム電源のオン/オフの際に発生するノイズ対策に役立ちます。

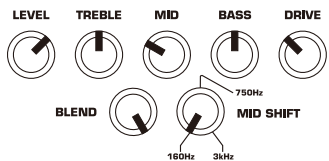
9 スピーカーシミュレーション

キャビネットを複数のマイクでマイキングした様なスムーズなサウンドを再現します。この機能で使用するキャビネットに悪影響を及ぼすことはありません。

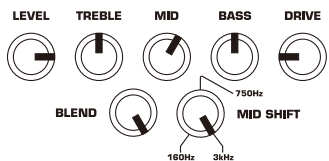
注意：本機にはアンプのスピーカアウト信号を入力する事はできません。誤った接続を行うと本機やアンプ等周辺機器を破壊する恐れがあります。

10 サンプルセッティング

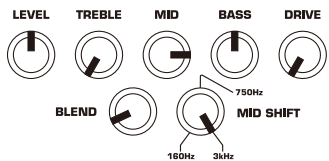
ACOUSTIC GUITAR I



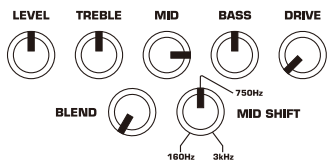
ACOUSTIC GUITAR II



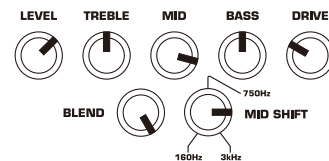
ACOUSTIC GUITAR III



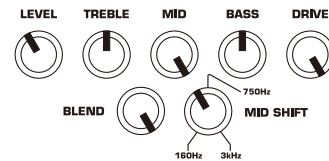
MID-BOOST GUITAR



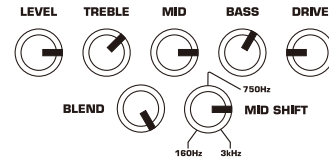
CHAMP ®



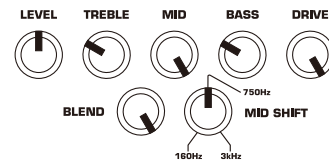
MONEY FOR NOTHING



SPARKLE ELEC GUITAR

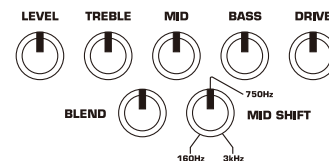


SCHENKER

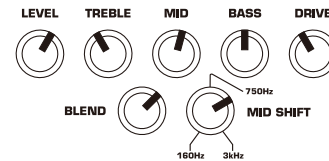


10 サンプルセッティング

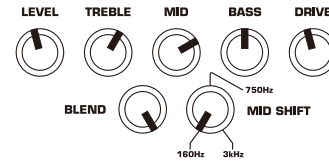
ELECTRIC PIANO



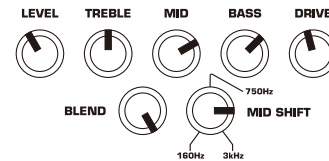
HAMMOND ® ORGAN



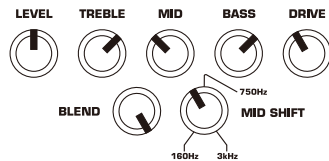
HIP-HOP DRUMS



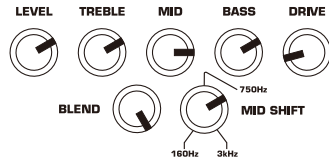
KICK DRUMS



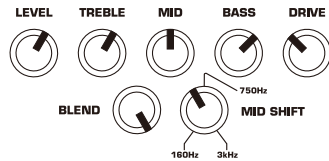
SNARE DRUM



STOMP BOX (COMPRESSOR) DIRECT - CLEAN



STOMP BOX (DISTORTION) DIRECT - ROCK



STOMP BOX (DISTORTION) DIRECT - METAL

